

省エネ相談地域プラットフォーム事業で 省エネを実現して生産性向上へ

課題

設備更新で省エネ化を 図りたい

昭和59年の創立以来、射出成形メーカーとして自動車部品、OA機器部品などを手がけてきた株式会社三幸。プラスチック射出成形1級技能士3名を有する安定した生産体制で自動車メーカーなどを取引先にプラスチック部品製造を行っていたが、海外生産へのシフトにより受注が減少傾向となるなか、玩具部品の製造に切り替え、近年はプラモデルの部品を中心に生産を行っている。現在は大手プラモデルメーカーとの取引が80%以上。成型機10台を保有し、多品種かつ高精度の要求に応えられることから、取引先から厚い信頼を得て、堅実に事業を継続している。

しかし、成型機10台が24時間体制で稼働しており、電力を中心としたエネルギーコストが経営上の大きな課題となっていた。また、耐用年数が経過した設備の更新も必要だが、コスト回収期間の判断や、適正な機器の判断ができず更新を思うように進められずにいた。

エネルギーの使用状況を把握し、効率よく運用することで生産性の向上につなげていこうと、経営者は「省エネルギー」を経営課題に掲げ、具体策に取り組むことにした。

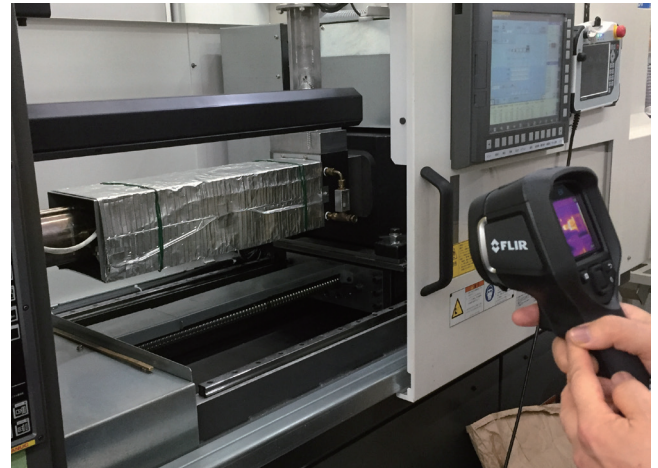
支援

省エネ促進で 経営力・生産性が向上

経営者の悩みを聞いた上野原市商工会の経営指導員から、山梨県商工会連合会の実施している「省エネ相談地域プラットフォーム事業」の活用依頼があったため、山梨県連ではエネルギー専門家による「省エネルギー診断」を実施。現在のエネルギー使用状況を把握するとともに、課題の整理を行い、省エネルギーの取り組みについて提案を行った。

同社の経営内容を把握している地元商工会の経営指導員と県連が連携したフォロー・支援を行ったことで、円滑な指導が実現した。

提案のなかから、最優先事項として、照明設備のLED更新に取り組むことを判断し、具体的な更新計画を実施した。まず、不要な照明の不点灯箇所の判別を行い、照明器具のLED化、成型機の冷水用チラーの更新、インバーター型コンプレッサーへの更新を提案した。設備の更新にあたっては、省エネ補助金の活用を提案し、書類作成支援などを行っ



見える化で効果を確認する

た。これにより、今後の電気料の大幅な節電が見込めることとなった。一層の経営力・生産性の向上が期待される。

商工会では今後も、引き続き提案のあった省エネルギーの取り組みについても、運営改善などを提案するとともに、社員教育など継続的な省エネ活動の定着を推進し、生産性の向上などにつなげ、経営力向上の実現を支援していく。また、省エネルギーの取り組みを通じて、社員のコミュニケーションや連帯感の醸成や、組織の強化も図っている。

支援の経過

期間	支援内容
H28年7月	省エネに関する診断開始（専門家派遣7回）
12月	診断の報告・今後のアドバイス
5月	照明施設更新計画の作成支援
H28年6～12月	省エネ補助金の申請支援・設備更新の実施
H30年6月	チラー設備更新について検討

会社概要

会社名：株式会社三幸
 住所：山梨県上野原市上野原8154-39
 電話番号：0554-62-4288
 URL：http://www.kksanko.co.jp/company/
 代表者名：代表取締役 阿部幸造
 創業年：昭和59年
 年間売上高：2億1000万円（平成28年）
 従業員数：13名（従業員9名、パート4名）
 商工会名・担当者名：山梨県商工会連合会・
 石川充※、深澤琢磨
 ※所属は支援当時